

若竹



(通算第 129 号)
第 084 号

2025 (令和 7) 年 4 月 23 日 : 発行
〒725-0023 竹原市田ノ浦三丁目 2-6
社会福祉法人若竹会「若竹編集室」
Tel.0846-22-4440・3090

皆さんどうお過ごしでしょうか？ ぽかぽかとした日差しが心地よい季節となりました。若竹の利用者も職員も様々な感染症に気を付けて、眠気と戦いながら作業を頑張っています。

3月17日に、希望者を募り、マナー勉強会という名目で「フォレストヒルズガーデン」にあるレストラン「フォルネッロ」に行きました。豪華なイタリアンコース料理で、自分が一番おいしいと感じたのは、ステーキです。ヒレスステーキは柔らかくて頬が落ちそうなになるくらい美味でした。全7品と食後のコーヒーすべて食べ終わるととても満腹になりました。そのあと寄り道をして「八天堂ビレッジ」「空の駅オーチャード」に行きました。お土産を買って帰る利用者さんもいて、とても充実した一日でした。おしゃれなレストランで高価なコース料理を食べることはとても貴重な経験となりました。ありがとうございました。T.H

R7.3/17 マナー勉強会へ行ってきました。



2025年度の目標として、「仕事も遊びも楽しく」を掲げてスタートしました。長年通所してくれている利用者さんをはじめ、初めてレクリエーションに参加する利用者さんもいて総勢27名、車5台でイタリアンレストラン「フォルネッロ」へ行って参りました。いつもは5分で昼食を完食してしまう人も、コースで次から次に出てくる料理に感激され、約2時間かけてコース料理を堪能しました。お蔭様で若竹内では見たことのない笑顔を見ることができました。おいしい食事は、心も体も満たしてくれるようです。このようなレクリエーションに楽しく参加できるよう、毎月工賃の中から積み立てをしている利用者さんもいらっしゃいます。「日帰り旅行はいつ行けるん？」と聞かれるたびに胸が痛みます。今年こそ若竹のみんなで、四国水族館に行きたいと思っています。次の新聞が発行される時には、楽しい報告ができるよう計画していきたいですね。ぜひ、おすすめのレストランがあったらお聞かせください。

「先人探訪」

若竹会後援会会長：日谷 博光

竹原地区医師会には「医家の休日」という小雑誌があります。年1回の発行ですから61号といえかなり古いものです。この中に「先人探訪」という欄があります。

最近号の中に「日谷トナコ」という文字を見つけました。私の親が書いた文章です。

『私は竹原生まれで竹原育ちと思われていますが、生まれは呉市です。竹原市には戦後帰ってきました。

古い祖父母が住んでおり、疎開して帰ってきました。』

古い日本語で書かれたもので読みづらいものですが、戦後の医師会の様子がよくわかります。「若竹会」もこのような欄を設けてはいかがでしょうか？

創立時の「苦労話」が良くわかっておもしろいのでは・・・・・・・・。

1年間で47万円ものお金をご寄付いただきました。感謝に堪えません。(この中から車両1台の一部を出させていただきます。)

若竹会後援会入会のご案内

社会福祉法人若竹会の事業を応援して下さる方に後援会ご入会をお願いしております。
利用者の工賃向上を目標として事業を展開していくためにも、皆さまのご協力を必要としております。
ご支援くださいますようよろしくお願いいたします。

●年会費一口 1,000円● 後援会にご入会戴きました方に「若竹」を送付させていただきます。

寄付・寄贈 ありがとうございました。(令和7年1月17日～令和7年4月22日)

☆金一封

竹原地区小型船舶連合会さま(2回)

中尾 泰美さま(2回)

☆物品

上戸 庸子さま(4回) 辻 孝明さま(6回)

匿名希望さま(5回) 中尾 泰美さま(2回)

久保田 正行さま(2回) 峠下 さま(4回)

唐口 克己さま(3回) 浜田 みはるさま(3回)

若竹会役員一同

理事長 脇田 恵子
理事 井口 哲彦
理事 山内 英明
理事 吉田 豊
理事 大石 睦子
理事 竹田 博
監事 宮地 憲二
監事 中尾 泰美

若竹会評議員一同

評議員 亀尾 善熙
評議員 有本 圭司
評議員 白石 台造
評議員 吉本 郁子
評議員 増田 正人
評議員 久保田 寛子
評議員 黒田 望

若竹会後援会一同

会長 日谷 博光
副会長 竹鶴 紘子
副会長 児玉 忠則
理事 中尾 泰美
理事 山本 晋児
理事 宮本 幹三
理事 竹前 勇二

若竹会後援会事務局たより No.82

温かい日差しに心躍る季節となりました。会員の皆さまいかがお過ごしでしょうか。平素より若竹会の活動に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、若竹後援会は、2024年度の活動を終了し、会計決算を行いまして、宮地憲二、中尾泰美両監事による監査を2月13日に終わりました。会員の皆様へのご報告が遅くなり心からお詫び申し上げます。

皆さまからのご厚意は私たちの大きな支えとなっております。引き続きあたたかいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ご入金くださいました方々のお名前を掲載させていただきます。心からお礼を申し上げます。(順不同、敬称略)

- ☆ 中尾泰美 国重千代江 有本圭司
- 小島和幸 小島尚美 脇田敏則
- 脇田恵子 井上龍輝 井上沙誉子
- 江島和仁 江島千枝
- ☆ 以上の皆さまです。

2024年度後援会会費収支決算報告書

自2024年 2月 1日
至2025年 1月31日

収 入		支 出	
前年度繰越金	4,299,591	振込手数料	10,559
2024年度後援会会費	479,000	税金	86
普通預金利息	567		
計	4,779,158	計	10,645

(総収入) 4,779,158 - (総支出) 10,645 = (現在残高) 4,768,513

2025年1月31日残高内訳	
現金	22,000
郵便貯金	3,474,235
郵便振替口座	1,272,278
計	4,768,513

若竹会後援会の収支決算書の内容を審査したところ、適正に処理されていることを認めます

2025年 2月 13日

宮地 憲二 (印)

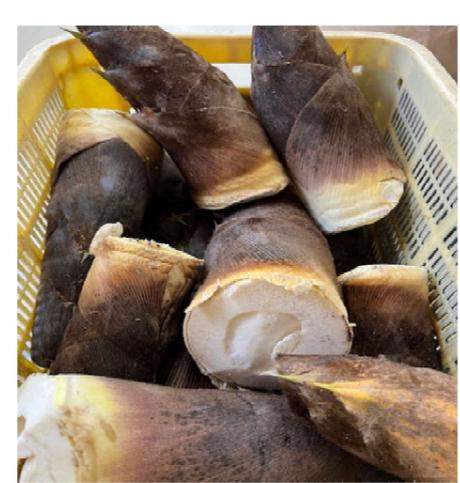
中尾 泰美 (印)

クッキーハウスわかたけからのお知らせ

日頃よりクッキーハウスわかたけをご愛顧いただきありがとうございます。ホワイトデーに合わせて登場した新作クッキーが、ご好評いただき、うれしい声をたくさん頂戴いたしました。

くるみの香ばしさとやさしい甘さが人気の「くるみの森」は、ホワイトデーが終わったあとも「また食べたい」と買いに来てくださるお客様が続き、私たちの励みになっております。また、かわいらしい見た目の「ショコラムーン」「ホワイトムーン」は、お子様に大人気。見た目と味の両方で楽しめる、わかたけらしい一品となりました。

今後も、「また食べたい」と言っていただけ、そんな味を目指してこれからも頑張っ参ります。皆さまの応援が、通所者の「やってみよう」という気持ち後押ししてくれています。焼きあがったお菓子の香りとともに、皆さまのお越しをお待ちしております。



旬の味をぎゅっと凝縮！

「たけのこすめるめ」数量限定で販売中

春の恵み「たけのこ」を一本一本でいねいに下茹でし、食べやすくカット。特性の味付けをほどこした後、じっくり乾燥させて仕上げた「たけのこすめるめ」をクッキーハウスわかたけにて販売しています。噛むほどにたけのこの旨みと香ばしさが広がる、おつまみにぴったりの商品です。

※たけのこが採れる時期だけの数量限定・販売となります。ぜひこの機会にご賞味ください！！

1袋 350円(税込) 20グラム入り



日々の暮らしに、やさしさを添える「刺し子ふきん」

し子ふきん

クッキーハウスわかたけでは、お菓子のほかに手しごとの温もりを感じる「刺し子ふきん」も販売しております。季節の図案や花のモチーフなど、ひと針ひと針心を込めて仕上げた作品は、見ているだけでやさしい気持ちになれます。

刺し子の制作は、若竹会の就労継続支援B型事業の一環として利用者さんが取り組んでいる大切なお仕事です。

使うたび、作り手の丁寧な想いが伝わってくるような一枚を、ぜひ日常に取り入れてみませんか。